

実践的な英語リテラシーを習得する学習テキスト、 Webサイトの充実と製品化へ向けて



実施事業 クッキングを通して学ぶ英会話コンテンツ開発と販売

株式会社 dreamLab

企業情報

〒970-8026 福島県いわき市平白銀町 4-13 不二屋第二ビル 1 階 ☎ 0246-84-8814 FAX 0246-84-8814
http://d-l.jp E-mail info@d-l.jp

事業者名 ▶ 代表取締役 小川 智美
設立年月 ▶ 2014 年 11 月 資本金額 ▶ 700 万円 従業員数 ▶ 3 人

会社概要

夢や目標を持って毎日をご過ごせるよう、子どもたちのために何が出来るだろうか。こうした模索が、当社の設立へ結び付いています。学校で教わらなくとも大切なことは数え切れません。それらを伝えるのが使命だと気づき、子供たちへの「自分を好きになってもらいたい」という想いを支えに、私たちは歩み始めました。学童保育（アフタースクール）・理数系の素養を伸ばすロボットスクールとして、生きるチカラを育む学習型・体験型プログラムを提供しています。



小さな成功体験を重ねて育む、自己肯定

英語リテラシー習得の機会を



新たな取り組みに子どもたちも興味津々

私たちのミッションは保護者の皆様、いわきの町とともに、子どもたちの未来をサポートする応援団であり続けることです。子どもたちと一緒に時間を過ごして何よりも伝えたいのは「自分を好きになろう！それが幸せへの第一歩だよ」。未来を切り拓く心、自己肯定感が高まるよう失敗も成功も温かく見守り、小さな成功体験を積み重ねていくことを重視しています。学童保育のカリキュラムも、こうした方針に沿って組み立てられます。

近年は、学習メニューの内容と提供価格を見直し、体験や交流の要素も交えてテーマ性を打ち出す方向へ転換が図られています。実践的な英語リテラシーを楽しく習得できる機会を作ろう…と検討を重ね、水曜を「料理の日」として希望者を募るアイデアが固まりました。

「食」を通し、多様な文化や歴史を知るために

オリジナル版の英会話テキストを作成した



料理中の会話は英語

和気あいあいと過ごせる料理体験を通し、実践的な英語を学ぶ取り組み。その対象は小学生で、今や一番の人気コースです。たとえばイタリア料理にトライするなら、イタリアという国の自然や歴史、文化とともに「食」にまつわる雑学も役立ちます。

そこで、さまざまなカテゴリーを取り込むオリジナル版の英会話テキスト（適宜、和訳あり）を作成しました。食材・調理器具・レシピに関するものなど、その場での会話を想定して必須ワードをピックアップ。視覚を通して理解をアシストできるよう、カット・イラスト・図解・写真を効果的にレイアウトしています。また、ご家庭で英会話コンテンツを復習するための Web 版プログラムを製作しました。これらは、日本人講師と外国人講師との共同作業です。

システムキッチンを中心に、料理体験スペースを設けました。近隣エリアで営業を進め、コンテンツの評価・改良も進めています。

コンテンツ外販スタートへの基盤固め

域外も対象に、親子向け・大人向け開発プランも

クッキングを通し、小学生が実践的な英語リテラシーを身に付けられるツール、環境が整いました。TPO に応じた英会話に加え、コミュニケーションスキルの習得にも役立つコンテンツは計 6 講座です。製品化の取り組みを活性化させるとともに、サービスのレベルアップ、マニュアル整備に努めるなど、社内スタッフの意思統一にも余念がありません。

コンテンツ開発・改良に関しては親子向け・大人向けのリリース、サービスのリニューアルも視野に入れながら順次、展開していく予定です。ネイティブスピーカーがスタッフに加わることで、たんなる語学レッスンの域を超え、リアルな国際感覚も主体的に体感できる次元を目指します。



アメリカ、メキシコ、インド、フランス等各国のテキストを考案

コンテンツ使用+研修受講が契約の基本パターン

すぐに結果が分かる、オプションメニュー提供も



教室には英語のかわいいテキストでいっぱい

フランチャイズ契約に基づいて外販を展開します。地元いわき市に限らず、さまざまな地域へ当社オリジナルの価値を届けられるよう仕組みを整えます。

講師のためのトレーニングとして、年間 2 回の研修を実施する予定です。コンテンツの趣旨・

内容、そして目指すべき活用効果を的確に理解した上で、受講生に対するアプローチ方法、状況に即した説明のコツなどを実地感覚で学ぶのが目的です。その際、コンテンツ使用料+研修受講料という収益パターンを見込めます。

「英語で資料づくり & プレゼンテーション」「1 日 10 個の英単語を覚えよう」といったオプションメニューの開発・更新も行う予定です。

Comment

広く世界が見えてくるほど、
楽しくなれる

代表取締役
小川 智美



英語という一つの言語は、自分自身の世界を広げてみたり、この地球に存在する多様な国や人々へ向け、情報や想いを発信したりするための道具です。dreamLab で子どもたちが過ごす時間は、画一的な知識やスキルを得るためではなく、さまざまな課題を見つけて考え、行動に表していく真の実践力を高めるのが目的です。課題をきちんと理解し、ゴールを決めて解決を図る姿勢が望まれます。詰め込み式ではなく行動してみる、他者との結び付きを重んじるという点で、英語を通して社会と関わるチカラを養えます。